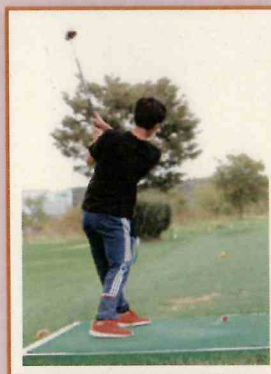
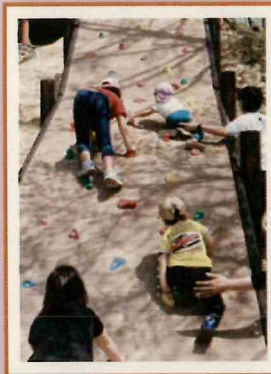
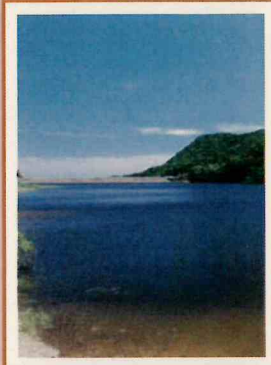


特集 むらの魅力再発見!!



休日に出かけてみよう

今月から全4回にわたり村の魅力をご紹介します!

第1弾 ~芸術・文化に触れ合おう~大衡村多目的施設・大衡村ふるさと美術館・昭和万葉の森

第2弾 ~村の施設を遊びつくそう~万葉クリエートパーク

第3弾 ~豊かな自然に触れる~達居森と湖畔自然公園

第4弾 ~桜と笑顔がお出迎え~大衡城跡公園・万葉おおひら館



芸術・文化に触れ合おう

春の桜・夏の新緑・秋の紅葉・冬の雪。四季を感じながら歩いてみませんか？
知られざる魅力が満載です！



大衡村多目的施設と大衡村ふるさと美術館を巡るのは、令和4年度新規採用職員の江藤秀行さん（住民生活課）と鎌水ありささん（健康福祉課）。初めて訪れる場所で2人は何を感じ、何を思うのか・・・

大衡村多目的施設



大衡村多目的施設に入ってみると、図書室や大衡村シルバー人材センターの事務所などがあります。

図書室にはたくさんの本が並んでおり、目に留まったのは、新着本や季節に合わせ特集している棚でした。毎月内容を変更しながら並べられるという棚ですが、取材に伺った日は勤労感謝の日が近いこともあり、仕事に関する本、日本の文化「七五三」に関する本などが置かれていました。次はどんな本が並ぶのか楽しみです。



江藤 図書室は誰でも利用できる施設です。本の種類も豊富で大人も時間を忘れて楽しめます。散歩の途中に多目的施設に立ち寄り、休憩するのもとてもいいと思います。本はスマートフォンでも読めますが、実際に図書室で自分好みの本を探すのが久しぶりでとても懐かしく感じられました。

鎌水 想像以上にたくさん本があり、とても充実していました。子ども向けの本だけでなく、料理やキャンプに関するもの、エッセイなどさまざまなジャンルの本が揃っています。小学生が利用している印象が強かったですが、老若男女問わず利用できる図書室だと感じました。役場や小学校から近いため、お散歩がてら図書室に行き、どのような本があるかページをめくってみるだけでも楽しいと思います。どなたでも利用可能なので、ぜひお気に入りの1冊を見つけに訪れてみてください。



大衡村多目的施設図書室

〒981-3602 大衡村大衡字平林45-1

◆利用時間 平日 午前9時～午後5時

◆問い合わせ先 図書室 ☎347-3381
公民館 ☎345-2197



大衡村シルバー人材センター

村内の除草作業やトイレ清掃、広報紙の折込作業などさまざまな業務を行っています。

会員数 男性44名 女性33名(令和4年12月時点)

◆営業時間 平日 午前8時30分～午後5時15分

◆問い合わせ先 ☎344-8825

多目的施設からふるさと美術館へ・・・

車で移動しても良いのですが、せっかくなので徒歩で移動。

道中には季節によって変わる木々や花々があり、何気ない風景かもしれませんが、写真を撮ったり、時間によって色を変える美しい様子を見るだけでリラックスできます。

そうこうしているうちに次の目的地であるふるさと美術館へ到着。(徒歩：約10分)



大衡村ふるさと美術館



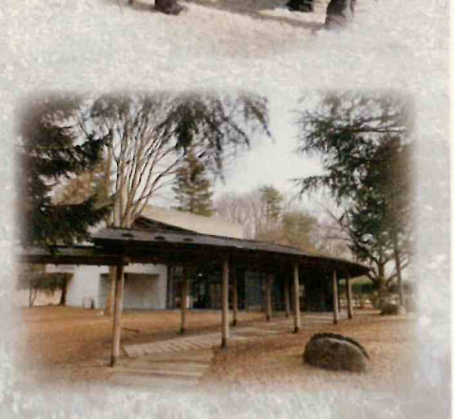
名誉村民である画家 菅野廉の作品を数多く展示している木々の中に佇む美術館。昭和万葉の森の中にあり、芝生の広いスペースで遊ぶのにもバッチリ！

早速入館してみると、立体的に見えるように仕掛けられた絵が展示されており2人も興味津々です。1階の常設展示室には絵がよく見えるよう工夫した照明に照らされた菅野廉の作品が展示されており、季節ごとに展示内容が変わるため、さまざまな作品が見られます。

また、2階の展示スペースでは年10回の企画展を行っています。今回訪れた際は東北生活文化大学「場とオブジェクト」と題した展示会の会期中でした。

江藤 美術館へ向かう道は、整えられていて歩いているだけでも気持ちがいよかったです。実際に美術館へ入ると、雰囲気がとてもよくて作品を観覧するのに集中できて素晴らしい施設だと思いました。2階も学生達の作品が展示されており、近代的な芸術にも触れられるところも素晴らしいと思いました。美術作品を見た後は美術館前の広場でお茶でも飲みながら作品の感想を話し合うのもいいかもしれません。

釜水 落ち着いた雰囲気、時間がゆっくりと過ぎていく感覚でした。とても居心地が良く、作品をじっくりと見ることができました。小さな美術館ですが企画展もあり、時季ごとに新たな芸術に触れられるのが魅力です。訪れたのは秋だったため、風に揺れる落ち葉や日に照らされた紅葉にとっても癒されました。広い芝生ではチェアリングでのんびりと過ごしたり、お子さんを連れて一緒に駆け回ったりするのにおすすめです。自然と芸術に触れ、五感の刺激となる素敵な美術館で、もう一度足を運びたい場所でした。



美術館を後に昭和万葉の森へ・・・

昭和万葉の森

昭和天皇御手植えの松や連理木がある昭和万葉の森が見えてきます。豊かな自然の中で散策したり、健康増進のためウォーキングをしたり、楽しみ方のバリエーションは豊富です。

2人は風景を撮影し、四季によって色を変える自然の姿に見惚れていました。

また、昭和万葉の森にはいたるところに万葉集の歌碑が設置されています。詠人の歌を見ながら自然を感じ、散策するなんていかがでしょうか？



連理木とは

2本の樹木の枝、あるいは1本の樹木の枝が分かれ、やがて一つに結合した状態が吉兆とされ、「夫婦円満・縁結び・良縁祈願」などの象徴として古来より親しまれています。1本だけでなく園内数カ所に自生していますので探してみてください！

昭和天皇御手植えの松

昭和30年、第6回全国植樹祭において昭和天皇がアカマツの苗を御手植えされました。

現在では、十数メートルまで成長しています。



・・・美術館から見どころへの所要時間・・・

昭和天皇御手植えの松まで：徒歩約5分
連理木まで：徒歩約5分

いかがでしたでしょうか？むらの魅力を再発見できましたか？我が村には楽しめる施設がまだまだあります！日々の疲れ、自然を感じながら癒されてはいかがでしょうか？休日にぜひ訪れてみてください。



昭和万葉の森

〒981-3602

大衡村大衡字平林117（管理事務所棟）

◆入園料 無料

◆開園時間

4月～10月 午前9時～午後4時30分

11月～3月 午前9時～午後4時

◆問い合わせ先 ☎345-4623

大衡村ふるさと美術館

〒981-3602

大衡村大衡字平林39-12

◆入館料 大人 200円

高校生・大学生 150円

小学生・中学生 100円

◆開館時間

4月～10月 午前10時～午後4時

11月～3月 午前9時30分～午後3時30分

◆問い合わせ先 ☎345-0945

第1弾編集担当



さいとう りく
齋藤 莉久
(都市建設課)



おのでら なおや
小野寺 侃也
(社会教育課)



※取材は昨年11月中旬に行いました。